

絆

K I Z U N A

2020 JUNE

JAグループ青森 月刊広報誌 [882号]

6



かがやく!

青森米

キャンペーン



A賞 応募券 3枚

金の米粒 (18K) 5名様

※イメージです。
※実際の大きさは異なります。

抽選で豪華商品が
合計 **2020名**様に当たる!!

キャンペーン期間
2020 **6/1** (月) - **7/31** (金)
応募締切 7/31 (金) ※当日消印有効

B賞 応募券 2枚

日立コードレススティッククリーナー 10名様

【PV-BFL1】

C賞 応募券 1枚

倉石牛特選上カルビ 20名様

【500g】

D賞 応募券 1枚

「密閉搾りねぶた」りんごジュース 果汁100% 40名様

【195g×30缶入】

Wチャンス賞 当たらなかった方の中からさらに抽選で! **オリジナルQUOカード** 1,945名様

【500円相当】

対象商品の「つがるロマン」「青天の霹靂」「まっくら」を購入された方は、WEBまたはハガキでご応募下さい。

JA全農あおもり / 青森米本部

お問合せ先 | 「かがやく!青森米CP」事務局 (株)RABサービス内 TEL.017-718-7786

詳しくは、特設WEBサイトへ
かがやく!青森米キャンペーン
<https://kagayaku-aomorimai-cp.jp/>

検索



特設ウェブ
サイトは
コチラから

「新たな日常」から生まれる変化への対応と 相互扶助の重要性

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月7日に緊急事態宣言が発令され、外出自粛要請や休業要請等、我々が経験したことのない危機に直面しました。

以降、国民の感染拡大防止に向けた取り組みや医療従事者の懸命な努力に加えて、出入国制限により、国内における感染者数は減少し、収束の兆しが見え始め、5月25日には全国的に宣言が解除され、新たなルールのもと日々の生活を送ることとなりました。

ただし、社会・経済活動の段階的再開により、感染拡大の第2波、第3波も懸念されており、引き続き予断を許さない状況が続いています。

農業分野においても、慢性的な労働力不足の中、入国制限により外国人労働者の確保が出来ず営農に支障が出ており、また、外食・インバウンドの減少、休校による学校給食の停止、イベント自粛等により、特にメロン等高級果物・肉牛・生乳・花きの消費が縮小し、価格の下落が著しい状況となっております。

この状況を打開するため、JA全農あおもりでは牛肉・生乳の消費拡大に向けたキャンペーンや、花きの需要喚起に向けたPR活動を展開しており、また、職員に購入協力を願い、花き・牛乳・りんごジュース等の消費拡大の一助となればと取り組んでいるところです。

今後、段階的に経済活動が再開されるものの、先行きの不透明感から消費は落ち込むことが予想され、さらに生活形態が変化することは必至であり、それに伴い消費形態も大きく変わると予想されます。

農畜産物についても例外ではないと考えております。

JA全農あおもりとしては、迅速に変化に対応しながら、従来の考え方に捉われず、新たな取り組みを進めていくこととしております。

また、新型コロナウイルスに対する感染防止対策は、企業・個人問わず続けていかなければならないものであり、企業はテレワーク等働き方改革を進め、職場の安全を確保する義務があり、個人についても、必要性を理解し自主的に取り組まなければならないものとなります。そのため、JA全農あおもりとしては、協同組合の理念である「相互扶助の精神 一人は万人のため、万人は一人のため」を職員一同、今一度再認識し、事業を展開していくこととしております。

JA全農あおもり

絆 ⁶ 目次 KIZUNA CONTENTS

メッセージ	1	経営の窓口	12
特集	2	組織農政通信	13
フラッシュ	4	輝き	14
インフォメーション	6	自慢の逸品	14
実践農業者支援	10	仲間	15
東北農政局通信あおもり	11		

新型コロナウイルスに 負けるな！

～積極的な宣伝活動で 消費拡大を～

J A全農あおもり

J A全農あおもりでは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による青森県産農畜産物の消費減退に伴う対策を実施している。今後も積極的な宣伝活動の実施で消費拡大に努めていく。

全農あおもりの担当者は「ぜひこの機会に、県産花きを贈り物として活用して欲しい。また、スーパー・生花店に行った際、県内の生産者を元気づけるためにも県産やさい・花きを選んで欲しい」と話す。

ラジオで旬の県産やさい・花きをPR

J A全農あおもりは、エフエム青森の新型コロナウイルス緊急対策企画「ウチカツ」に参画し、新型コロナウイルスの影響で需要低迷が続く青森県産やさい・花きをPRしている。

1回目は5月8日、2回目は14日に、それぞれエフエム青森の番組内で放送。現在出荷最盛期を迎えている花き「カンパニュラ」や「アルストロメリア」を紹介した。

「カンパニュラは、ピンクやスカイブルーなど涼しげで綺麗な色。『感謝』という花ことばもあり、母の日の贈り物にどうぞ」「アルストロメリアは、冷涼な県内の気候での栽培に適した花き。ホワイトやピンク、ブルーなど鮮やかな色合いで日持ちが良いのが特徴」とPRした。

5月20日、26日には旬の県産やさい「きぬさや」や「アスパラガス」を紹介した。7月まで週1回放送し、合計13品目をPRする予定となっている。



最盛期の「アルストロメリア」㊤と「カンパニュラ」㊤

県産牛乳を新聞でPR

J A全農あおもりは、青森県産牛乳の消費拡大を図るため、農業新聞東北版に「日々変わる成分知って HPに情報を公表」と題した記事を投稿。5月26日に掲載された。

ホームページの更新にあたる全農あおもりの担当者は「ホームページでは、日々変わる成分を確認してもらえたら嬉しい。新型コロナウイルスの影響で牛乳の消費が落ち込んでいる今、県産牛乳をたくさん飲んで県内の酪農家を元気づけて欲しい」と話す。



5月26日 農業新聞東北版

生乳（原料乳）の成分情報は、牛乳パックに記載されている賞味期限ごとに「乳脂肪分率」や「無脂乳固形分率」を確認することが出来るもので、月3回程度更新している。

『あおい森の牛乳』は東北町産の生乳を使用した商品。乳脂肪分率3.6以上、無脂乳固形分率8.3以上の厳しい条件をクリアした生乳のみを使用しているのが特徴だ。



牛乳の成分情報をホームページで公表

今年度は4回開催！牛乳ごっくんキャンペーン

J A全農あおもりと青森県牛乳普及協会は、6月5日から6月30日まで、抽選で素敵な賞品が当たる「牛乳ごっくんキャンペーン第1弾」を実施する。

令和2年度は、これまで以上の対策が必要と考え回数を増やし4回開催する予定。2弾目は8月1日から予定している。

青森県産牛乳1000mℓパックについている三角マーク10枚を1口として応募すると、「あおもり和牛」のステーキやカルビなど合計250名様に当たるもの。

2弾目以降も、消費者が楽しみになるような素敵なプレゼントを用意する。

問い合わせは、県牛乳普及協会「牛乳ごっくんキャンペーン係」まで。電話（017）729-8631

青森県産牛乳消費拡大キャンペーン

朝食・昼食を応援しよう！

6/5(火)～30(火) 第1弾 2020

牛乳ごっくん キャンペーン

このマークを10枚集めて送ってね！

抽選で合計250名様に当たる！

- A. 赤身ステーキ 30g 賞品
- B. 赤身ステーキ 50g 賞品
- C. 赤身ステーキ 50g 賞品
- D. 赤身ステーキ 120g 賞品

応募方法

応募締切

2020年6月30日(火)

応募先

J A全農あおもり / 青森県牛乳普及協会

キャンペーンポスター

	開催予定
第2弾	令和2年8月1日～31日
第3弾	令和2年10月1日～31日
第4弾	令和2年12月20日 ～令和3年1月31日



青森県産牛乳消費拡大キャンペーン

牛乳ごっくん キャンペーン 専用応募用紙

〒010-0847 青森県東津軽郡大湊町1-1-1
青森県牛乳普及協会「牛乳ごっくんキャンペーン係」
【お問い合わせ先】017-729-8631

専用応募用紙

フラッシュ

JA青森



JA窓口で安心感を 新型コロナ対策 (5/1)

JA青森では、依然猛威を振るっている新型コロナウイルス対策として、各支店の信用・共済窓口にて飛沫感染予防アクリル板やビニールシートを順次設置している。アクリル板は、書類や金銭の受け渡しがスムーズにいくよう、下枠の長さを計算したうえで加工して設置。窓口の職員は「まだアクリル板越しの接客に慣れない部分があるが、対策がされていると安心感がある」と話す。



JAつがるにしきた

完全自動で 農薬散布 (5/27)

JAつがるにしきたは、つがる市富苑地区の圃場（ほじょう）でスマート農業実演会を開き、生産者やJA関係者ら約20人が参加した。作業の省力化と安定多収栽培技術確立に向けて、ドローンによる農薬空中散布を検討してもらおうと、北東北スカイテック株式会社の協力を得て実施。参加者は「あつという間に作業が終わり驚いた。導入について前向きに検討したい」と話した。

JAつがる弘前



JAつがる弘前オリジナル商品発売開始 津軽のスチューベンで作ったスチューベンじゃむ (5/11)

JAつがる弘前は、オリジナルジャムの第3弾「津軽のスチューベンで作ったスチューベンじゃむ」を発売した。リンゴ、桃に続き3品めとなる。JAでは「お年寄りから小さなお子さまにまで好まれる味に仕上がったので、ぜひ食べてほしい」とPR。価格は1個（260g瓶入り）税込648円で、JA農産物直売所で販売している他、JAショッピングサイトでも購入できる。



JAごしょつがる

黒星病モニタリング (5/15)

JAごしょつがるりんご課は、近年のりんご黒星病の発生を踏まえ、黒星病の発生状況を監視するモニタリング調査を行っている。取りまとめたデータはホームページに公開しており、基準日より10日前後の結果と予測を確認できる。

園児ら感謝の気持ち伝える (5/28)

JA相馬村本所に相馬子ども園の園児ら16名が感謝の手紙と、言葉を伝えるに訪れた。

毎年JA相馬村の青年部と女性部は子ども園の野菜畑の耕起から定植まで行っており、園児の代表3名が「畑を手伝ってくれてありがとうございました。」と青年部長と女性部事務局に伝えた。



JA相馬村



JA津軽みらい

基本を守りおいしい米を栽培

津軽みらい農協特A米プレミアム研究会 (5/15)

津軽みらい農協特A米プレミアム研究会は、米穀店など取引先からの要望に対応し、県ブランド米「青天の霹靂（へきれき）」2020年産の特別栽培米を実施している。同研究会17人と田舎館村の「稲華会」4人が48%で作付を予定しており、同研究会の工藤憲男会長は、「今年も基本を守って管理し、食味の良い青天の霹靂を栽培したい。消費者の皆さんには、我々生産者が丹精込めて栽培した米を楽しみに待っていてほしい」と話した。



JA十和田おいらせ

働きやすい環境づくりへ トレーナー制度導入(5/1)

JA十和田おいらせは、新採用職員に対する「トレーナー制度」を今年度初めて本格導入した。新人職員の業務の早期習得や効率化、働きやすい職場づくりで、定着率アップとリクルート強化を図る。

トレーナーの久野真季さん(20)は「教えることで自身の責任意識が芽生えた。自分で考える時間を与え、臨機応変に対応できる職員に育てたい」と意気込む。



JAゆうき青森

アピオス調査隊

天間林小学校児童植付体験学習 (5/15)

七戸町立天間林小学校3年生児童51人は、アピオスの植付体験学習を行い、JAゆうき青森の職員と管内の生産者が学習の補助を行った。児童らは「力がある作業もあって大変だけど楽しい」「早く収穫して食べたい」と目を輝かせて話した。

アピオスは11月に収穫し、調理実習を行う予定。



JAおいらせ

女性部員がマスク300枚手作り

JA窓口利用者にプレゼント (5/22)

JAおいらせ女性部六戸支部は、新型コロナウイルス対策への支援として手作りマスクの製作に立ち上がり、完成したマスクを沖澤繁弥組合長に寄贈した。手作りマスクはJA六戸支店金融課窓口と七百出張所窓口利用者にプレゼントされる。



JA八戸

新型コロナウイルス対策緊急消費拡大支援 (5/11)

～役職員が食べて、飾って、生産者を応援～

JA八戸は5月から、役職員を対象とした新型コロナウイルス対策緊急消費拡大支援を実施している。花、果物、和牛がセットとなったコースを作成し、JA八戸グループ全体で農畜産物の消費拡大を実施することで、生産者への支援へと繋げていく。

新採用職員研修会へ講師派遣

JA青森中央会は、県内3JAで開催した新採用職員研修会に講師を派遣した。参加した新採用職員らはJA理念や社会としての心構えなどを学んだ。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3日間の研修日程を1日に短縮。JAつがるにしきた（4月15日）、JAごしょつがる（4月16日）、JA津軽みらい（5月14日）の3JAに講師を派遣した。

研修会では協同組合の特性やJAの事業内容、青森県農業の概要について理解を深めた。また、セミナー東北の鎌田昌子さんを講師に、身だしなみや挨拶、電話対応など、ビジネスマナーの基礎を学んだ。



▲電話対応について学ぶ参加者（JA津軽みらい）

メッセージ付きフラワーアレンジメント贈呈 県産花きの消費拡大へ

JAグループ青森は、新型コロナウイルスの影響により需要が低迷している県産花きの消費拡大をはかるため、JAグループと取引のある観光業や飲食業、関係団体に対し「がんばろう」のメッセージを付けたフラワーアレンジメントを贈る取り組みを始めた。

観光客の減少・外出自粛等により休業を余儀なくされているホテルや飲食店のほか、関係団体など112団体に対し5月12日より実施。現在休業中の店舗などには営業再開に合わせて順次贈呈する。

フラワーアレンジメントにはアルストロメリア、ヒマワリ、スナップなど、現在出荷を迎えている県産花きを使用。日頃お世話になっている取引先への感謝の気持ちを込め、プレートには「がんばろう」のメッセージを入れた。

5月19日、JAグループ青森四連の阿保直延会長と、酒井一由副会長が贈呈先の「アートホテル青森」を訪れた。阿保会長は「この取り組みによ

り、県内の花き栽培農家に加え、観光業・飲食業など、新型コロナウイルスにより影響を受けた多くの方々を応援したい」と話した。

贈呈を受けたアートホテル青森宿泊マネージャーの佐藤亜希子さんは「色鮮やかなお花で、ロビーが明るくなった。ホテルを利用されるお客様にも、ぜひ笑顔になって欲しい」と話した。



▲贈呈したフラワーアレンジメントと、阿保会長（左）、佐藤さん（中央）、酒井副会長

行事（6/10～7/10）

6月

- 10日 青森県JA女性大会（県農協会館）
- 10日 県参協定例会（県農協会館）
- 11～12日 監督者研修会（第1回）（教育研修所）
- 12日 JA直売所協議会（県農協会館）
- 15日 JA広報担当部課長・担当者会議（県農協会館）
- 15日 日本農業新聞通信員会議・研修会（県農協会館）
- 15日 内部統制管理監督者研修会（教育研修所）
- 18～19日 管理者研修会（教育研修所）
- 23日 経営基盤強化（中期計画）研修会（教育研修所）
- 25日 定例理事会（県農協会館）
- 29日 通常総会（県農協会館）
- 29日 県農協農政対策本部委員会（県農協会館）

7月

- 8日 県参協定例会（県農協会館）
- 9日 JA総務・管理担当常勤理事会議
- 10日 JA自己改革推進会議（県農協会館）

簡単・便利な「JAバンクアプリ」を使おう！

JAバンク青森では、お客様の利便性向上に加え、新型コロナウイルス感染予防を目的とした「新しい生活様式」のツールの一つとして「JAバンクアプリ」のご利用をお勧めしている。

このアプリは、スマートフォンとキャッシュ

カードがあれば、簡単に登録ができ、誰でもすぐにご利用が可能。

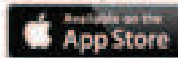
スマートフォンで、残高照会や入出金明細照会をいつでも無料で利用できるほか、メモ機能を使えば通帳の代替として活用できる。

アプリの初回登録手順は次のとおり。

JAバンクアプリの初回登録手順

①アプリストアからアプリをダウンロード

JAバンクアプリ



または、こちらからどうぞ →



②ログイン画面からスタート



③お手元にキャッシュカードを用意



④その他必要事項を入力し、JAサービスIDを作成



⑤登録が完了！



© Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
© Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

《JAバンクアプリでできること》



※残高照会対象口座：当座・普通・貯蓄・定期・定期預金・積立式定期・通知

行事（6/10～7/10）

農林中央金庫	3日	JA信用事業における反社会的勢力対応研修（県農協会館）	
6月			
10日	融資初任者研修および統一事務手続研修〈貸出編〉（ウェブ会議）	7日 青森県JA信用担当部課長会議（県農協会館）	
16日	JAバンク青森運営協議会専門委員会（ウェブ会議）	9～10日 農業融資研修〈融資・審査編〉（県農協会館）	
7月		農協電算センター	
2日	2020年度第1回第二種証券外務員試験・内部管理責任者資格試験（県農協会館）	6月	
		29日	定時株主総会（県農協会館）

「お米の出荷契約はJAへ」新CMで推進を

JA全農あおもりでは、全国的な需要の減少などがさらに進むと見て、これまで以上に契約推進を呼びかけるため新CMを作成。4月から放映している。

全農あおもり米穀部の成田具洋部長は「JAへの出荷契約は、計画的な集荷・販売が実現でき、経営の安定化が図れる。今年は特に、出荷契約で手取り確保に繋げて欲しい」と話した。



▲米出荷契約の新CM

行事（6/10～7/10）

6月

25日

運営委員会（県農協会館）

組合員の笑顔がつまった新CM作成へ

JA全農あおもりは、農業に対するイメージアップや青森県産農畜産物の消費拡大を図るための新CMを作成中。令和3年4月からの放映を予定している。

組合員の笑顔が多く映る構成とし、「愛情込めて育てた県産農畜産物を食べて欲しい」という願いをセリフに込め、リレーメッセージする流れとした。

撮影初日となった5月17日、JA青森とJAつがるにしきた管内ほ場で田植えの撮影を行った。農作業シーンや笑顔でセリフを話すシーンを撮影し、良好なスタートとなった。

撮影に臨んだ（農事組合法人）羽白開発の福士博人さんは「撮影は楽しかった。CMの放映が楽しみ」と話した。

撮影は5月から12月にかけて行い、田植え、りんご、にんにく、肉牛など全14品目を県内10JAで予定している。



▲JA青森の撮影の様子



▲JAつがるにしきたの撮影の様子

自動車共済お見積もりキャンペーン実施中!

JA共済連青森は、県本部独自に自動車共済お見積もりキャンペーンを実施している。

本キャンペーンは応募された方から抽選で豪華商品をプレゼントするもので、3Q訪問活動等を通して、JA共済未加入車両へのお見積もり提案を展開することで、今までJA共済とつながりがない方に対する情報収集・提案を促進、新規契約の拡大につなげることを目的としている。

●応募期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

- ・第1期：令和2年4月1日～
令和2年6月30日
- ・第2期：令和2年7月1日～
令和2年9月30日
- ・第3期：令和2年10月1日～
令和2年12月31日
- ・第4期：令和3年1月1日～
令和3年3月31日

●応募対象者

青森県内にお住まいで、JAの自動車共済に加入していない車両に対して、自動車共済のお見積もりをご依頼いただいた方。キャンペーン応募はお車1台につき、1回までとする。

※なお、JA系統役職員とその家族は応募対象外となる。

●応募方法

応募用紙に必要事項記入のうえ、応募者がJA職員に直接応募用紙を提出するか、またはJA窓口へ持参していただく。

●賞品設定（年間168名、各期42名）

賞名	賞品	年間 当選数	各期 当選数
A賞	任天堂スイッチ	8名	2名
B賞	ドライブレコーダー	40名	10名
C賞	コードレスクリーナー	40名	10名
D賞	車載緊急用キット	80名	20名
見積り者 プレゼント	レジャーシート	先着 2,000名	各期 設定なし

A賞 任天堂スイッチ



B賞 ドライブレコーダー



C賞 コードレスクリーナー



D賞 車載緊急用キット



★見積り先着2,000名様に
レジャーシート
プレゼント



▲キャンペーン応募用紙

行事（6/10～7/10）

6月

25日

運営委員会（県農協会館）

実践 農業者支援

農業労働力確保緊急支援事業のうち 「援農者緊急確保支援事業」に関するQ&Aについて

新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人材の入国制限等による人手不足が生じるといった事態の中、国は、農業労働力を確保し、農業生産を維持することを目的に、「農業労働力確保緊急支援事業」を実施する。

今回は、当該事業のうち「援農者緊急確保支援事業」に関するQ&Aを紹介する。

Q1 対象となる農家やケースとは？

A1 新型コロナウイルスの影響で外国人材および通常どおりの日本人雇用ができず、代替人材を雇用した農家等が対象となる。

- 例① 入国制限等により、来日予定だった技能実習生等外国人が来られなくなった場合
例② 小学校等の休校の影響で、子の保護者である従業員が出勤できなくなった場合 等

(注) ただし、新型コロナウイルス感染症の影響と言えない場合や、掛かり増し費用が発生しない場合は、対象にならないので留意が必要である。

Q2 代わりに雇う人材等の要件とは？

A2 代わりに雇う人材の要件は特にないが、原則7日間以上の雇用契約を結ぶ必要がある。また、農作業委託や人材派遣の方法で代替人材を活用する場合、事業実施主体である「全国農業会議所」に対し、資料を提出する必要があることから、予めその農作業受託組織や人材派遣会社では、登録が必要となる。

Q3 対象となる経費の内容、単価は？

A3 代わりに雇う人材を雇用した場合に、掛かり増しとなった労賃、交通費、宿泊費、保険料などが対象となる。

【単価】

- ① 労賃 1時間500円以内（1日10時間まで）
- ② 交通費 月3万円以内
- ③ 宿泊費（居住費）1泊6千円以内
- ④ 保険料 実費

Q4 対象期間は？

A4 令和2年4月1日から令和2年12月31日の間で、代替りの人材を雇用等した期間が対象となる。

なお、令和2年3月31日以前から代替りの人材を雇用していた場合でも、対象期間は4月1日以降の分となる。

Q5 具体例は？

人材派遣を活用するケース

農家が、来日できなくなった技能実習生Aさんの代わりに、県内在住のBさんを人材派遣で1ヶ月雇った場合

	交通費	宿泊費	労賃	保険料	計
Aさん	0万円	0万円	22.8万円 (時×100円×28日×1.2倍) +500円×28日 +500円×28日	考慮しない	22.8万円 ①
Bさん (県内在住の日本人)	1万円 (県外からの交通費)	3万円 (1泊6千円×5泊)	33.3万円 (派遣料) (時×100円×28日×1.2倍) +500円×28日	200円×28日	37.3万円 ②
支援金額					14.5万円 ②-①

農作業を委託するケース

農家が、来日できなくなった技能実習生Aさん1ヶ月分の作業の代わりに、作業委託会社に農作業を頼んだ場合

	交通費	宿泊費	労賃	保険料	計
Aさん	0万円	0万円	22.8万円 (時×100円×28日×1.2倍) +500円×28日 +500円×28日	考慮しない	22.8万円 ①
Bさん (委託の作業委託会社)	30.0万円(作業委託料) (時×100円×28日×1.2倍×1.2倍×1.2倍×1.2倍)				30.0万円 ②
支援金額					7.2万円 ②-①

元の雇用契約のない場合の支援

農作業をしていた家族が感染したなど、元の雇用契約がない場合

次の単価が上限となる。直接雇用、人材派遣、作業委託のいずれであっても、代替の人員が何時間何日労働をしたかにより、計算する。

労賃	交通費	宿泊費(居住費)	保険料
500円/時間	3万円/月	6,000円/泊	実費

※なお、詳細については「青森県JA農業労働力支援センター情報No.5」をご覧ください。中央会農業対策部までお問い合わせください。

(中央会 農業対策部)

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農業者向け金融支援策

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/kinyu/attach/pdf/index-33.pdf>
農業者向け金融支援策
(農林水産省HP)



農林水産省は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けた農業者・事業者を支援します。以下に金融支援策の一部をご紹介します。詳しくは上記の Web サイトをご覧ください。

◆減収等により当面の資金繰りにお困りの方

利用可能な資金

- ① 農林漁業セーフティネット資金
- ② スーパーL資金
- ③ 経営体育成強化資金
- ④ 農業近代化資金

◆既往債務の返済にお困りの方

利用可能な資金

- ① 農業経営負担軽減支援資金
- ② 経営体育成強化資金
- ③ スーパーL資金

◆新たに販路拡大や省力化等の施設整備に取り組みされる方

利用可能な資金

- ① スーパーL資金
- ② 経営体育成強化資金
- ③ 農林漁業施設資金
- ④ 農業近代化資金

◆融資にあたり、保証機関の保障をご希望される方

支援の対象となる資金

- ① 農業近代化資金
- ② 農業経営負担軽減支援資金
- ③ その他農業者向け民間借換資金

対象資金と支援内容

資金名		5年間の 実質 無利子化	実質 無担保化	保証料の 5年間 免除
日本政策金融公庫	農 林 漁 業 セーフティネット資金	○	○	原則 保証料は 必要なし
	ス ー パ ー L 資 金	○	○	
	経営体育成強化資金	○	○	
	農 林 漁 業 施 設 資 金	○		
民間金融機関	農 業 近 代 化 資 金	○	○	○
	農業経営負担軽減支援資金	○	○	○
	既往借入の借換資金	金利は、 民間金融 機関で 決定	○	○

持続化給付金

●対象者：事業者（農林漁業を営む個人・法人等）

●給付額：

- ┌ 中小法人等 200万円
 - └ 個人事業者等 100万円
- （昨年1年間の売上からの減少分
または、上記金額を上限とします。）

●給付要件：新型コロナウイルス感染症の影響により、ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少している事業者等で、かつ、2019年以前から事業による事業収入（売上）を得ており、今後も事業を継続する意思のある事業者等

●注意事項：一度給付を受けた方は再度給付申請することができません。

2019年に創業した方や売上が一定期間に偏在している方等には特例があります。

経営の窓口

◆令和元年度決算速報からみる県内3月決算JAの状況 ～新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は次年度から～

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナと略）の世界的な感染拡大により、将来の需要減退を予想した株価や原油価格の急激な低下など、あらゆる市場において大変動が起きている。これらの状況は、JAはもちろん地域の経済活動にまで痛手を与えており、今後JA経営の悪化のみならず、農家組合員の所得向上の取り組みへ与える影響も見極める必要がある。

今回は、令和元年度3月決算JAの決算速報をもとに県内JAの状況を紹介したい。

2. 令和元年度決算速報（3月決算JA）の概要

3月決算JAの令和元年度の状況としては、事業総利益（3月決算JA計）が15,480百万円で、前年度（速報値）15,996百万円と比較すると96.8%と減少しており、7JA中6JAが前年度を下回っている。1JA平均では2,211百万円（前年度2,285百万円）で、前年度より74百万円減少している。

事業ごとに見てみると、信用事業総利益が2,960百万円（前年度3,257百万円）で前年対比90.9%。7JA中6JAが前年度を下回った。共済事業総利益は3,598百万円（前年度3,850百万円）、93.5%。全JAが前年度を下回った。購買事業総利益は7JA中6JAが前年度を上回り、3,871百万円（前年度総利益3,685百万円）、105%。昨年度（103%）に引き続いて前年度を上回った。昨年の野菜安値の影響が販売事業は3,037百万円（前年度3,396百万円）、89.4%で、7JA中6JAが前年度を下回った。指導事業総利益は△353百万円（前年度△356百万円）、99.2%と、ほぼ前年並みであった。

事業管理費は、14,100百万円（前年度14,391百万円）、前年対比98.0%。1JA平均では2,014百万円（前年度2,056百万円）で、前年度より41百万円減少している。事業管理費のうち人件費も傾向はほぼ同じで、9,608百万円（前年度9,821百万円）、97.8%となっている。1JA平均では1,373百万円（前年度1,403百万円）で、前年度より30百万円減少している。人件費の減少額は事業管理費減少額の73.2%に当たる。

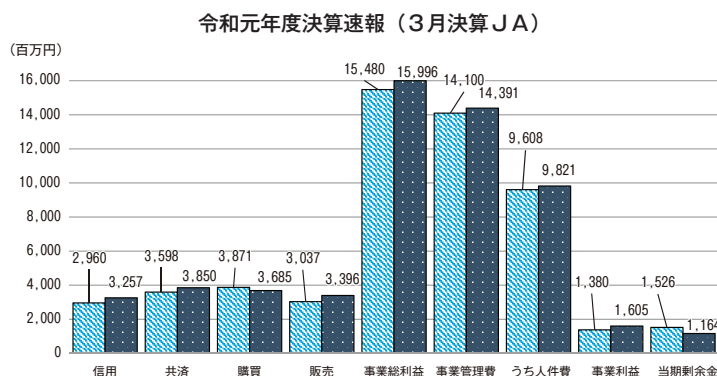
事業総利益から事業管理費を引いた事業利益は1,380百万円（前年度1,605百万円）、前年対比86%。1JA平均で197百万円（前年度229百万円）と前年度より32百万円減少している。一方、7JA中4JAが前年度を上回った。事業外・特別損益、法人税等を含めた当期剰余金は1,526百万円（前年度1,164百万円）、131.1%で、全JAが黒字。7JA中4JAが前年度を上回った。1JA平均では218百万円（前年度166百万円）で、前年度より52百万円増加した。

一般的にみると、購買事業は堅調なもの、信用・共済・販売事業の減少が影響して事業利益が落ち込み、それを事業外・特別損益で補っている状況にある。

3月決算JAの速報値をみると、昨年の野菜安値などの影響は見受けられたが、新型コロナの感染拡大やそれに伴う緊急事態宣言などによる景気の後退・消費の減退といった影響は、次年度の決算からになると思われる。

3. さいごに

今回の新型コロナの感染拡大による日本経済・景気への影響に加え、JA改革の動向や信用事業の奨励金水準の低下など、JAの経営環境は厳しさを増すことが予想される。



とはいえ、JAは農業「協同組合」であり、その総合事業の特色を活かした地域への貢献を通じて、農家組合員はもちろん地域住民からも頼られる組織として、また、景気後退の影響を被る地場産業や企業を支える地域金融機関として、その重要性が一層高まることは間違いない。いずれ訪れる新型コロナ終息後を見据え、さまざまな分析手法などを活用し、持続可能なJA経営基盤の確立・強化への取り組みを加速していただきたい。

（中央会 経営対策部）

組織農政通信

持続化給付金について

1. 目的・概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、営業自粛等により特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える持続化給付金を給付する制度が令和2年4月末に成立しました。

経済産業省が所管で、中小企業庁において持続化給付金事務局（以下、事務局）を設置して、給付に必要な事務を行うこととなりました。

実務としては、商工会議所等に窓口（手続支援場所）が順次開設されてきています。

給付金の申請期間については、申請の受付は令和2年5月1日（金）から令和3年1月15日（金）までです。

2. 給付対象者

○個人事業者

個人事業者のうち次に掲げるすべての条件を満たす者となります。

- (1) 2019年以前から事業により事業収入（売上）を得ており、今後も事業を継続する意思があること。
- (2) 2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、前年同月比で事業収入が50%以上減少した月が存在すること。

○中小法人等

中小法人等のうち次に掲げるすべての条件を満たす者となります。

- (1) 2020年4月1日時点において、次のいずれかを満たす法人であること。ただし組合若しくはその連合会又は一般社団法人については、その直接又は間接の構成員たる従業員の3分の2以上が個人または次のいずれかを満たす法人であること。（従って、任意団体は対象とはならない）
 - ① 資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること。
 - ② 資本金の額又は出資の総額が定められていない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること。
 - (2) 2019年以前から事業により事業収入（売上）を得ており、今後も事業を継続する意思があること。
 - (3) 2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、前年同月比で事業収入が50%以上減少した月が存在すること。
- ※いずれの者も、給付金の給付は同一申請者に対して一度に限るものとしています。

3. 給付額

給付額の限度は、個人事業者は100万円、中小法人等は200万円までとなっています。

算定方法は、限度額を超えない範囲で、対象月の属する事業年度の直前の事業年度の年間事業収入から、対象月の月間事業収入に12を乗じて得た額を差し引いたものとなっています。

4. 申請方法

申請者は、申請期間内に、事務局が定める方法で事務局に必要な情報及び証拠書類を提出することにより申請することとしており、パソコン等によるWeb上での電子申請となっています。

5. 県内での対応について

現在、県内JAについては、関係資料を送付し情報提供に努めている状況にあります。

また、Webによる電子申請や農業者の申請時の収入差額の考え方などについて、他県の動向等を情報収集して、説明会を開催することとしています。

(中央会 農業対策部)



輝き

J A青森中央会
農業対策部 組織農政課
ますだて かりん
舩館 花林 さん

●プロフィール
令和2年4月から勤務 十和田市出身 23歳

— 働くきっかけは？ —

進路選択の際、大学のゼミの先生から中央会を紹介してもらいました。

— 業務内容を教えてください。 —

県女性協の事務局、県生活指導員連絡協議会の事務局、全JA調査を担当しています。

— 働いた感想は？ —

皆さんいくつもの業務を兼任していて、とても大変そうだなと感じました。当たり前のことですが、実際に働いていても、初めてのことばかりで1つ1つの会議や研修、文書等の発送などこなすことだけで精いっぱいです。

— 仕事をする上で、日頃心がけていることは？ —

女性部の皆さんや各JAの事務局さんに迷惑をかけないように、例年の動きに沿って業務を確実にこなしていくことです。

— 特技・趣味は？ —

特技はクレヨンしんちゃんを書くこと！

— あなたが自慢できることは？ —

料理や工作など手先を使うことが好きでわりと得意です。

— 将来の夢は？ —

九州旅行にいったおいしいもの巡りして、長崎県のハウステンボスで遊びたい！

J A相馬村直売所「林檎の森」ラ・フランスソフト



一番人気の「ラ・フランスソフト」

J A相馬村は、出店から約25年経過した直売所「林檎の森」を今年3月にリニューアルオープンした。リンゴを中心に、旬の野菜や果物、花きなどが所狭しと並ぶ店内で買い物を楽しんだ来店客の多くが注文するのが「ラ・フランスソフト」だ。

ソフトクリームは、リニューアル前から年間を通して販売している人気商品で、味はラ・フランス、バニラ、イチゴ、そしてラ・フランスとバニラのミックスの4種類。

中でもラ・フランス味は、さっぱりとした甘さの中にラ・フランスのほどよい酸味が感じられ、ほのかに香る芳醇な香りが人気で、お客様の中には「ラ・フランスのさっぱりとした味が、また食べたくなる」と話すリピーターも多い。また、ラ・フランスとバニラのミックスは、バニラも楽しみたい方に人気となっている。

直売所の津嶋育美リーダーは「夏にかけてソフトクリームの注文が多くなるため、しっかりと準備してお待ちしております。

来店の際は是非人気のラ・フランス味を堪能してみてください」と話す。

ソフトクリームは1個280円（税込み）。

問い合わせ先：J A相馬村直売所「林檎の森」

電話：0172 (84) 3411

記事提供：J A相馬村



J A相馬村



「もち米作り」で 部員の輪を広げる



播種作業を行う青年部員ら

J A相馬村青年部の主力事業である「もち米作り」が今年も始まった。昨年までは苗を購入し、5月中旬から作業を始めていたが、事業にかかる経費の削減と、部員から「種籾から作ってみたい」との意見が上がったことから、今年は4月から取組みを始めた。

青年部では毎年J Aの育苗作業の補助もしているため、種籾から苗を育てることは難なく行うことが出来ていた。

部員らは自分たちの種籾を愛着が湧いたように扱いながら播種・出芽作業を行い、今年植え付けする50枚分の育苗箱を作った。

現在はハウスで育苗中で、生育は順調に進んでいる。部員らは時間を作っては苗の生育状況を確認し、写真を撮ってみんなで共有し合っている。

田植えは5月15日に弘前市相馬地区にある青年部の田んぼで行う。稲刈りは例年9月中旬に行い、収穫したもち米は11月に精米し、一升づつ袋詰めしてJ Aの直売所で販売をする。また、12月には相馬こども園で園児と一緒に餅つきを行い、きな粉やあんこなどさまざまな味で楽しむ予定だ。

柴田康平部長は「この取組みを今年も成功させ、皆さんに美味しいもち米を届けたい。そしてまた青年部で新しい取組みなどを考え、進化していきたい」と、これからの活動に意欲を見せていた。

(日本農業新聞・青森県版5月14日掲載)

後編 記集

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が先月25日で全国的に全面解除された。直近1週間の新規感染者が人口10万人当たり0.5人程度以下が目安の一つとされたが、これ以上の休業要請等による雇用情勢の悪化と経済対策が急務となっている。

幸い、本県では、ここ1ヵ月以上新規感染者は発生していないが、周りを見渡しても勤務先や外での行動時は100%マスク着用が継続されており、2次感染が起こらないようあと2ヵ月程度はこのスタイルが続くのではないかと思われる。

さて、県内の田植えも終盤に差し掛かっている

時期だが、昨年度食味ランキングで県内初の「特A」を獲得した県産米「まっしぐら」が、今年は、「つがるロマン」から転換している農家が多く作付面積が増えている。2年連続の「特A」獲得に期待したい。

また、新型コロナウイルスの影響で飲食店のアルバイトを制限された弘前市の学生がりんご園地で働いているとの記事があった。農家人口の減少による労働力の確保は待ったなしの現実であり、学生のアルバイト収入確保と人手不足の解消に向けて継続的に実施され地域との交流に繋がってほしい。(公)



ホームページアドレス

- J A青森中央会 <http://www.ja-aomori.or.jp/chuoukai/>
イベントの様子、歳時記、産直・J A情報などをご覧いただけます。
- J Aバンク青森 <http://aomori.jabank.org/>
商品・サービスのご案内のほか、マネーシュミレーションや全国のJ Aバンクへのリンク等をご覧いただけます。
- J A全農あおもり <http://www.am.zennoh.or.jp/>
生産量日本一のりんご・にんにく・ごぼうをはじめとした農畜産物情報や活動状況、中古農機情報を紹介しております。
- J A共済連青森 <http://www.jakyosai-aomori.jp/>
J A共済のご案内のほか、地域貢献活動の取組みを紹介しております。

「食」と「農」 都市と農村 つなげる紙面

役立つ、得する、
楽しい情報が満載

●購読のお申し込みは JA へ
購読料 1カ月 2,623円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<https://www.agrinews.co.jp>

知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動



"Ienohikari"
家の光

5月号で
は創刊95周年

これからも JAと地域のみなさんの役に立つ
食と農の耳寄り情報をお届けしてまいります!



いま
“知りたい”

暮らしの旬のテーマを取り上げます

創刊95周年記念

今年の5・9・12・1月号は、別冊付録2冊付き!



食と農 暮らし 協 同 家 族

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ



定価(税込) ●普通月号 629円
●付録月号(1・4・5・7・9月号)922円
●家計簿付き12月号 1,027円

JAグループ 家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町 11
TEL.03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

年6回は
別冊付録付き





つがるロマン
TSUGARU ROMAN



青天の霹靂
SEITEN NO HEKIREKI



まっしぐら
MASSHIGURA

青森から3つの「美味しい!!」

青森米本部
aomori-komehonbu.gr.jp



©やなせたかし



大切な記念日に、お友達へのプレゼントに、
大会イベントの景品に、永年勤続表彰に。
次の新しい旅のために、

**Nツアー旅行券を
是非ご利用ください!**

**Nツアー旅行券は、
農協観光各支店にてご購入・ご利用いただけます。**

 株式会社 農協観光

Nツアー旅行券は

1,000円券、5,000円券、10,000円券
がございます。

※Nツアー旅行券にはご利用期限はございません。

Nツアー旅行券のご利用方法について

Nツアー旅行券は、全国の農協観光各支店で、Nツアーで行く国内・海外旅行、各種クーポン券（旅館券・ホテル券・船車券・観光券）、航空券（国内線・国際線）やJR券（乗車券・特急券など）等のご購入にご利用いただけます。

ご案内

1. 当社の支店において、お客様のご希望されるご旅行に必要な各種乗車券、クーポン券類とお引換えいたします。
所在地等店舗情報は弊社ホームページ（<https://ntour.jp>）をご覧ください。
2. 宿泊施設、運輸機関等に直接提示し使用することはできません。
3. 現金とお引換えはできません。
4. JR回数券類、外国通貨、旅行小切手類、商品券類、保険、印紙、証紙、切手、その他プリペイドカード類とはお引換えできません。
5. 旅行券の券面金額未済のクーポン券類とお引換えの場合、残金（つり銭）のお支払はできません。
6. 旅行券で購入したことを示す「商制」を券面に押印（記入）することがあります。
7. 旅行券でクーポン券類（「商制」表示のある券含む）とお引換え後に払戻す場合は、クーポン券類の発行箇所での取り扱いとなり、1,000円以上は旅行券で、1,000円未満は現金にてお返しいたします。
8. 盗難、紛失または焼失等に対して当社はその責を負いません。
9. 旅行券のご利用期限はありませんが、発行所印のないものは無効です。また汚損し、記入事項の判断不能のものは無効です。

作品介绍

●令和元年度 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール（図画部門）



■優秀賞（図画部門第一部）
「はじめて田うえを手つだったよ」
八戸市立是川小学校
2年 中居 凜 穂



■優秀賞（図画部門第一部）
「田うえ」
弘前大学教育学部附属小学校
3年 長谷川 巧